

TOTO

フリースタイル手すり

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1-1. 安全上の注意(安全のために必ずお守りください)

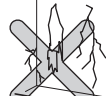
取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

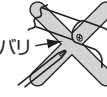
表 示	意 味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	○は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	●は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

 警 告		
	分解禁止 修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 手すりの破損や脱落により、けがをするおそれがあります。	
	禁止 屋外や浴室などの、水がかかったり湿気が多い場所には取り付けない また、下地および商品を水にぬらさない 部材が腐食することで商品および手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	
	必ず同梱のねじ、または当社指定の固定金具を使用する 同梱のねじ、または当社指定の固定金具を使用しないと、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	
	必ず強度のある壁・建築構造体に取り付ける 壁自体に強度がない場合は厚み12mm以上の構造用合板（JAS規格品）または、同等以上の下地材に取り付けるか、別売りの後付け補強板を設ける 土壁・石こうボード壁などの強度のない壁に直接取り付けると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	
	各部材は必ず指定の取付方法で取り付ける 指定の取付方法を守らないと、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	

1-2.

 警 告		
	必ず実行	
	取り付け完了後、手すりにガタツキがないことを確認する 手すりにガタツキがあると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	
	差し込み形式のブラケット・接続金具では、木棒は奥まで差し込んで固定する 差し込みが浅いと木棒が抜け、けがをするおそれがあります。	
	木棒の切断は、鉛筆などでけがきを入れ、軸に対して垂直に切断する 取り付けが不安定となり、けがをするおそれがあります。	
	ブラケット・木棒の固定ねじは、必ず適切な下穴をあけてからねじ込む 取り付けが不安定となり、けがをするおそれがあります。	

 注 意		
	必ず実行	
	ねじは十字穴部にバリが出ないように固定する 手などが接触し、けがをするおそれがあります。	

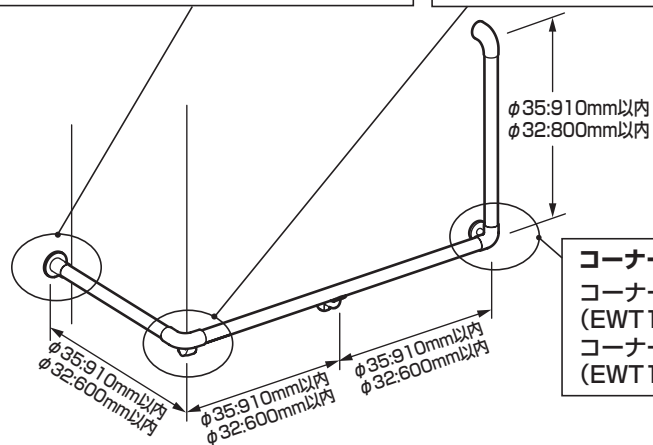
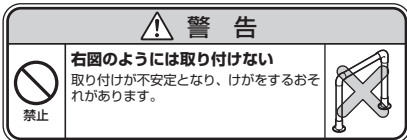
2. 取り付け前の注意

取り付け前の注意

- 手すりを取り付ける壁に **十分な強度がある** ことを確認してください。
- 間柱に固定する場合は、壁裏センサーやプッシュ式針などを使用して間柱の位置を確認し、確実に手すりを間柱に固定するようにしてください。また、間柱が腐食していないことを確認してください。
- 屋外や浴室などの水がかかったり湿気が多い場所、水没する場所には**取り付けない**でください。
変色や変形のおそれがあります。
- コンクリート下地へ取り付けの場合は別売りの固定金具（樹脂プラグ）を使用してください。

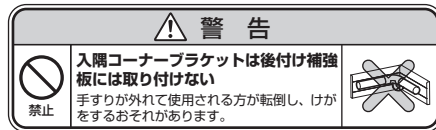
エンドブラケット

エンドベース
(EWT10BB型)



ジョイントブラケット

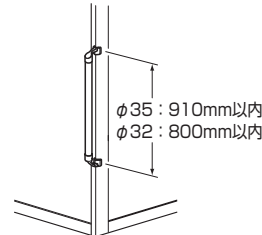
入隅コーナーブラケット (EWT11BC型) 出隅コーナーブラケット (EWT10BC型)
真壁入隅コーナーブラケット (EWT12BC型)



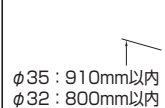
コーナーブラケット
コーナーブラケット (EWT11BL型)
コーナーホルダー (EWT12BL型)

エンドブラケット

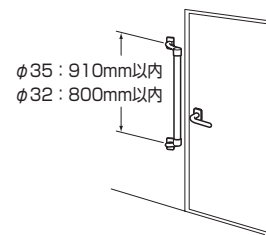
出隅ブラケット
(EWT13BD型)



出隅スリムブラケット
(EWT14BD型)



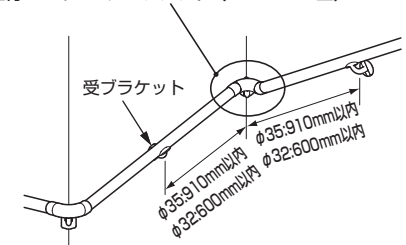
オフセットブラケット
(EWT13BZ型)



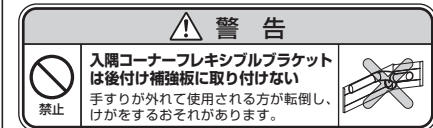
- 開き戸に使用する場合、扉と手すりを握った際の干渉を防ぐため、ドア枠から40mm離して設置してください。
- ドア枠の出が大きい場合には、補強木などで取付部を出を調節してください。

ジョイントブラケット

入隅コーナーフレキシブルブラケット (EWT11BF型)
出隅コーナーフレキシブルブラケット (EWT10BF型)
真壁入隅コーナーフレキシブルブラケット (EWT12BF型)
直付フレキシブルブラケット (EWT14BF型)

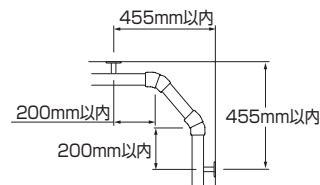
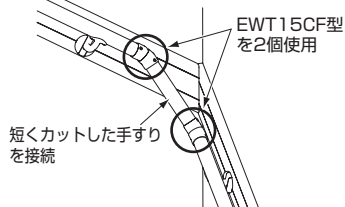
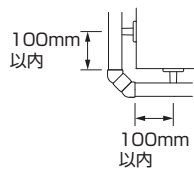


出隅/入隅コーナーフレキシブルブラケット、直付フレキシブルブラケットのいずれかを両側に使用する場合、ブラケット間に受けブラケットを設けてください。

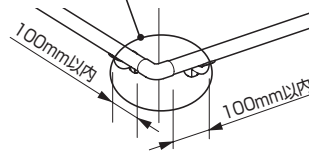


フレキシブルジョイント
(EWT10CF型)

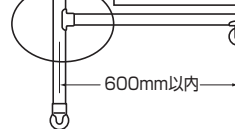
(EWT15CF型)
後付け補強板を使用する場合、階段の勾配入隅部の接続にはEWT15CF型(2個)をお選びください。



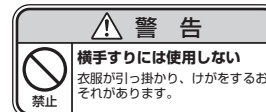
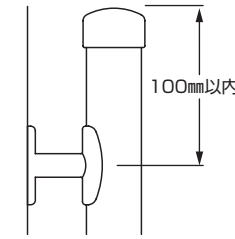
コーナージョイント
(EWT10CC型)



T字ジョイント
(EWT11CT型)

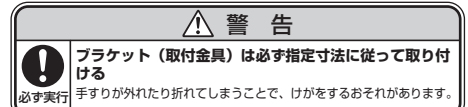
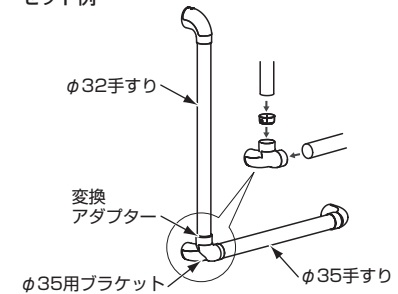


エンドキャップ
(EWT10CE型)



変換アダプター
(EWT10CH型)

セット例



4. 固定金具（別売品）

品 番	名 称	形 状	入数	備 考
T110D26型	樹脂プラグ	 φ8×40	20	コンクリート下地固定用 下穴径φ8、 下穴深さ60mm
T110D29型		 φ5×25	20	コンクリート下地固定用 下穴径φ5、 下穴深さ45mm
EWT26DS1A型	スペーサー		1	EWT12BE型用 厚さ6mm
EWT26DS1B型			1	EWT12BE型用 厚さ9mm
EWT26DS2A型			1	EWT13BE型用 厚さ6mm
EWT26DS2B型			1	EWT13BE型用 厚さ9mm
EWT26DS3A型			1	固定部φ54のブラケット用 (一部例外あり注)、厚さ6mm
EWT26DS3B型			1	固定部φ54のブラケット用 (一部例外あり注)、厚さ9mm

注：取付可能品番はEWT10BE型、EWT10BJ型、EWT10BK型、EWT10BU型、EWT11BE型、EWT11BL型、EWT16BU型です。

〈樹脂プラグの対象商品と使用本数〉

樹脂プラグ品番	商品品番		使用本数
T110D26型	EWT12BB型		4本
T110D29型	EWT10BB型	EWT12BE型	3本
	EWT10BE型	EWT13BE型 注	
	EWT10BJ型	EWT13BU型	
	EWT10BU型	EWT14BF型	
	EWT11BE型	EWT15BU型	
	EWT11BL型	EWT16BU型	
	EWT11BU型	EWT12BL型	4本
	EWT12BK型	EWT13BZ型	6本
	EWT10BK型		

注：EWT13BE型は樹脂プラグを使用する場合、丸皿タッピンねじ（φ4×40）3本を現場手配してください。

※EWT10BC型、EWT10BF型、EWT11BC型、EWT11BF型、EWT12BC型、EWT12BF型、EWT13BD型、EWT14BD型、EWT14BE型、EWT15BD型、EWT15BE型はコンクリート下地固定はできません。

5-1. 各部材の取付要領

（1）下地の確認

手すりを固定する壁に十分な強度があることを確認してください。

（2）割り付け、位置出し

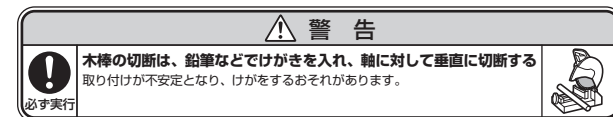
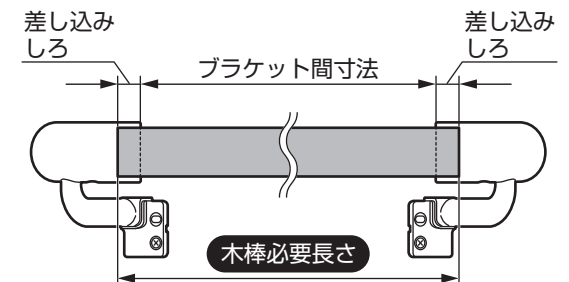
3-1. 3-2. 各部材の設置条件（P.2～P.3）を確認し、ブラケットおよび接続金具の割り付け、位置出しを行ってください。

（3）ブラケットの仮固定

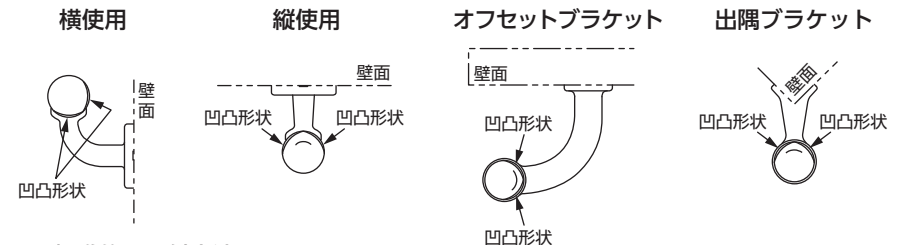
ブラケットをいったん仮固定してください。

（4）木棒の切断

ブラケット間の寸法を測定し、差し込みしろを考慮して、木棒を必要な長さに切断してください。（※差し込みしろはP.5～P.8を参照ください）



セーフティタイプの施工例



※標準的な取付方法で示しています。
使用者が特定できる場合は、その方の使いやすさにあわせて取り付けてください。

5-2.

(5) ブラケットおよび木棒の固定

各ブラケットの取付要領を確認し、ブラケットおよび木棒を固定してください。

間柱固定を行う場合の注意

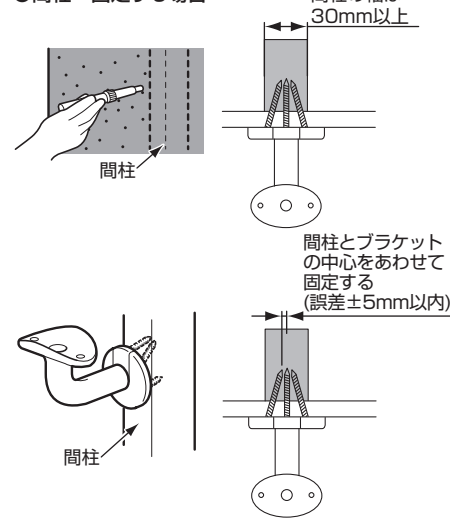
次のブラケット類は、合板壁や後付補強板への固定だけでなく、タッピンねじを斜め方向に固定することにより、間柱への固定も可能です。壁裏センサー・プッシュ針などで間柱の位置を確認してから固定してください。

- ・L付受ブラケット EWT10BU型
- ・L付受ブラケット(前出調整タイプ) EWT15BU型
- ・L付受ブラケット(角度調整タイプ) EWT16BU型
- ・L付エンドブラケット EWT10BE型
- ・直付受ブラケット EWT11BU型 **注1**
- ・直付エンドブラケット EWT11BE型 **注2**
- ・オフセットブラケット EWT13BZ型
- ・エンドホルダー EWT12BE型 **注2**
- ・L付ジョイント受ブラケット EWT10BJ型
- ・L付着脱ブラケット EWT10BK型
- ・直付フレキシブルブラケット EWT14BF型

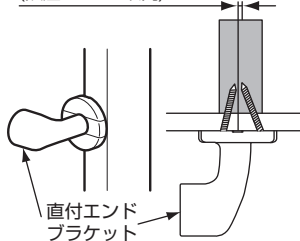
注1：縦手すりに使用する場合のみ間柱に取り付けることができます。

注2：横手すりに使用する場合は下図のように取り付けてください。

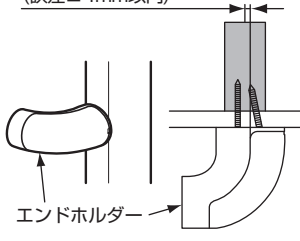
●間柱へ固定する場合



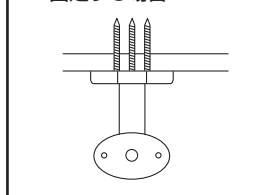
間柱中心よりブラケット座面中心を2mm左側にずらして固定する(誤差±4mm以内)



間柱中心よりブラケット座面中心を4mm右側にずらして固定する(誤差±4mm以内)



●合板壁・後付補強板へ固定する場合

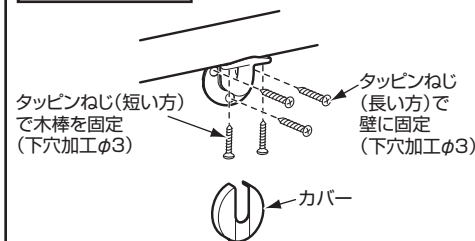


⚠ 警告

必ず実行	30mm×30mm以上の間柱に固定する 取り付けが不安定となり、けがをするおそれがあります。
	すべての壁固定ねじが間柱に12mm以上ねじ込まれ、しっかりと固定されていることを確認する 取り付けが不安定となり、けがをするおそれがあります。
	間柱とブラケットの中心のずれは指定の範囲になるように固定する 取り付けが不安定となり、けがをするおそれがあります。
	間柱が腐食していないことを確認する 手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

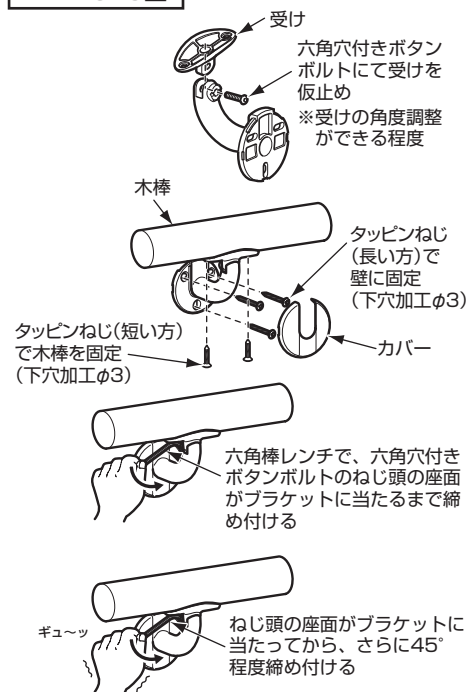
L付受ブラケット

EWT10BU型



L付受ブラケット(角度調整タイプ)

EWT16BU型



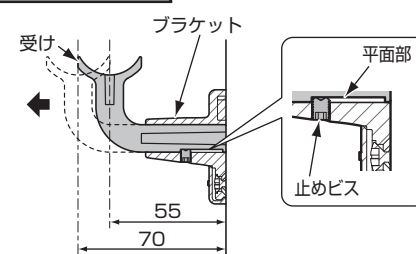
⚠ 警告

必ず実行	六角穴付きボタンボルトは確実に固定する 取り付けが不安定となり、けがをするおそれがあります。
-------------	---

L付受ブラケット(前出調整タイプ)

(単位: mm)

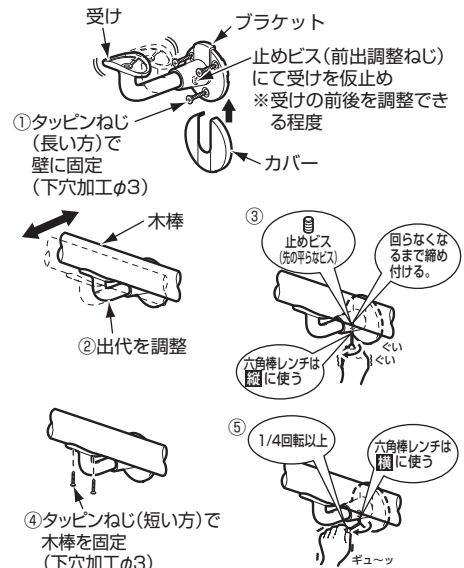
EWT15BU型



受けの前出調整範囲は55～70mm

⚠ 警告

必ず実行	ビス頭がブラケットより飛び出していないことを確認し、55～70mmの前出調整範囲で、受けの平面部に止めビスを締め付ける ビス頭がブラケットより飛び出していたり、止めビスが平面部から外れた位置で締め付けると、取り付けが不安定となり、けがをするおそれがあります。
-------------	--



⚠ 警告

必ず実行	止めビスをブラケットの平面部に突き当て、確実に締め付ける 取り付けが不安定となり、けがをするおそれがあります。
-------------	--

L付ジョイント受ブラケット

EWT10BJ型

警告

差し込み形式のブラケット・接続金具では、木棒は奥まで差し込んで固定する。

奥までしっかり!

差し込みが浅いと木棒が抜け、けがをするおそれがあります。

木棒を両方とも差し込んだ状態で固定ねじを締め付ける。

片側の木棒のみ締め付けてからもう一方を差し込むと、取り付けが不安定となり、けがをするおそれがあります。

必ず実行

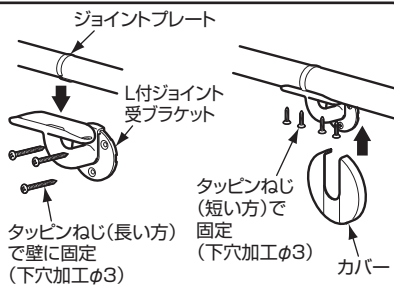
注意

ジョイントする木棒の端面の傾きが1mm以内になるように丁寧に切断する。

木棒の切り口が露出し、けがをするおそれがあります。

1mm以内

必ず実行

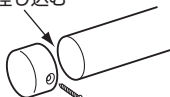


エンドキャップ

EWT10CE型

差し込みしろ
17mm

奥まで差し込む



タッピングねじで固定
(下穴加工φ2)

L付エンドブラケット

EWT10BE型

差し込みしろ
25mm

タッピングねじ
(長い方)で壁
に固定
(下穴加工φ3)



タッピングねじ(短い方)
で木棒を固定
(下穴加工φ2)



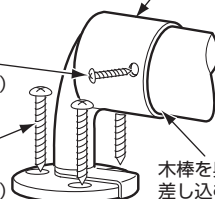
直付エンドブラケット

EWT11BE型

差し込みしろ
25mm

タッピングねじ
(短い方)で
木棒を固定
(下穴加工φ2)

タッピングねじ
(長い方)で
壁に固定
(下穴加工φ3)



木棒を奥まで
差し込む

直付受ブラケット

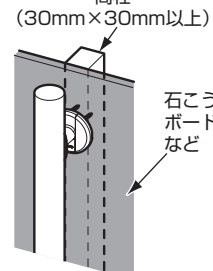
EWT11BU型

※直付受ブラケットを使用する場合は、壁にブラケットを固定する前にブラケットと木棒を固定してください。

②次に壁に
タッピングねじ
(長い方)で固定
(下穴加工φ3)



①先に木棒をタッピングねじ
(短い方)で固定
(下穴加工φ2)



手すりを縦使いする場合
のみ間柱へ固定することが
可能です。

エンドホルダー

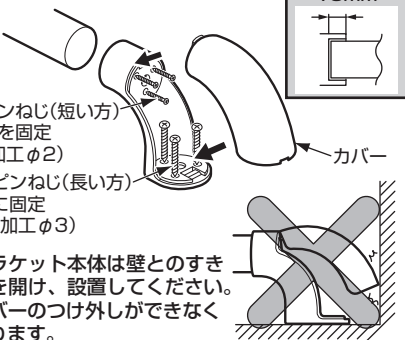
EWT12BE型

差し込みしろ
15mm

タッピングねじ(短い方)
で木棒を固定
(下穴加工φ2)

タッピングねじ(長い方)
で壁に固定
(下穴加工φ3)

※ブラケット本体は壁とのすき
間を開け、設置してください。
カバーのつけ外しができなく
なります。

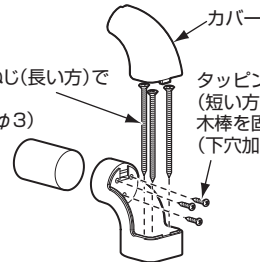


エンドホルダー

EWT13BE型

差し込みしろ
15mm

タッピングねじ(長い方)で
壁に固定
(下穴加工φ3)



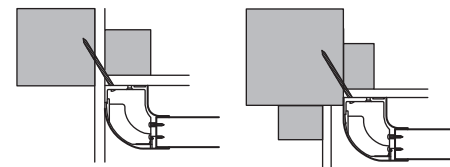
タッピングねじ
(短い方)で
木棒を固定
(下穴加工φ2)

下図のように、ねじを斜めに固定することで本柱に固定することが可能です。従来どおり真っすぐに固定することも可能ですので、設置する壁の状況により壁固定ねじの固定方法が選べます。

●本柱へ固定する場合

・大壁の場合

・真壁の場合



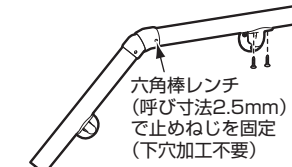
※斜め方向に本柱固定する場合は、壁固定ねじ2本を本柱に固定してください。

※柱にねじが12mm以上ねじ込まれるようにしてください。

フレキシブルジョイント

EWT15CF型

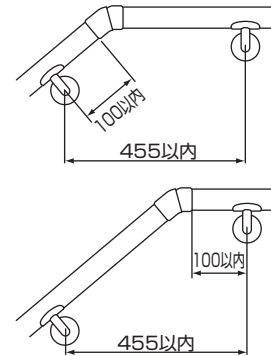
差し込みしろ
15mm



注意
止めねじは両側から均等に締め込み、フレキシブルジョイント表面よりも凹になるようにねじ込む
止めねじがフレキシブルジョイントよりも凸になっていると、けがをするおそれがあります。

●勾配部に設置する場合

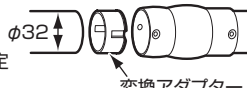
(単位: mm)



EWT10CF型

差し込みしろ
15mm

タッピングねじで木棒を固定
(下穴加工φ2)

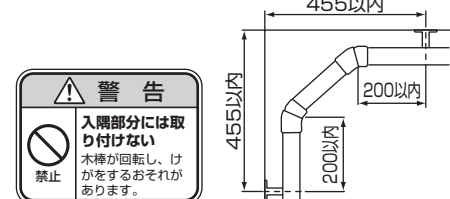


同梱されている変換アダプターを使用します。

警告
差し込み形式のブラケット・接続金具では、木棒は奥まで差し込んで固定する。
差し込みが浅いと木棒が抜け、けがをするおそれがあります。

●入隅勾配部に設置する場合

(単位: mm)



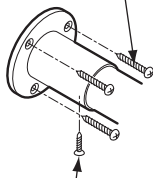
警告
フレキシブルジョイント端から片側上記寸法以内の位置に、必ずブラケットを1個設け、フレキシブルジョイントと挟むブラケット間隔は455mm以内にする
必ず実行
手すりが出たり折れたりすることで、けがや重大事故につながるおそれがあります。

エンドベース

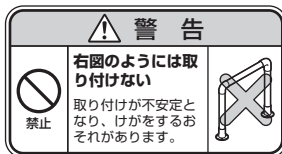
EWT10BB型

差し込みしろ
45mm

タッピンねじ
(長い方)で壁に固定
(下穴加工φ3)



タッピンねじ(短い方)
で木棒を固定
(下穴加工φ2)

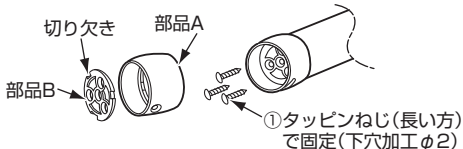


ストレートジョイント

EWT10CS型

差し込みしろ
15mm
および
9mm

(単位: mm)



①タッピンねじ(長い方)
で固定(下穴加工φ2)

②タッピンねじ(短い方)
で固定(下穴加工φ2)

警告

ストレートジョイント
端から片側100mm
以内の位置に、必ずブ
ラケットを1個設け、
ストレートジョイント
と挟むブラケット間隔
は455mm以内にする
手すりが出たり折れてし
まうことで、けがや重大事
故につながるおそれあり
ます。

差し込み形式のブラケット・接続金具では、
木棒は奥まで差し込んで固定する
差し込みが浅いと木棒が抜け、けがをするおそれ
があります。

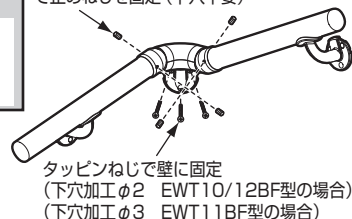


入隅・出隅・真壁入隅コーナーフレキシブルブラケット

EWT11BF型、EWT10BF型、EWT12BF型

差し込みしろ
15mm

六角棒レンチ(呼び寸法2.5mm)
で止めねじを固定(下穴不要)



※φ32の木棒で施工する際は、変換アダプター
(EWT10CH型)を使用してください。

底面をカットして
使用します。変換アダプター
(EWT10CH型)

図はEWT11BF型の場合を示す

警告

差し込み形式のブラケット・接続金具では、
木棒は奥まで差し込んで固定する
差し込みが浅いと木棒が抜け、けがをするおそれ
があります。



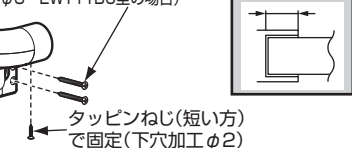
注意

止めねじは両側から均等に締め込み、フレキシブルジョイ
ント表面よりも凹になるようにねじ込む
止めねじがフレキシブルジョイントよりも凸になっていると、けが
をするおそれがあります。

入隅・出隅・真壁入隅コーナーブラケット

EWT11BC型、EWT10BC型、EWT12BC型

タッピンねじ(長い方)で壁に固定
(下穴加工φ2 EWT10/12BC型の場合)
(下穴加工φ3 EWT11BC型の場合)



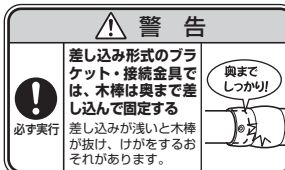
※φ32の木棒で施工する際は、変換アダプター
(EWT10CH型)を使用してください。

底面をカットして
使用します。変換アダプター
(EWT10CH型)

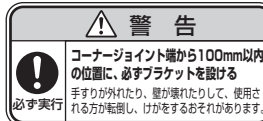
図はEWT10BC型の場合を示す

コーナージョイント

EWT10CC型

差し込みしろ
25mm

タッピンねじ
で固定
(下穴加工φ2)



(単位: mm)

100以内

100以内

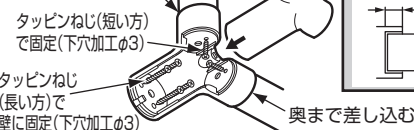
100以内

100以内

コーナークホルダー

EWT12BL型

カバー(上からスライドさせる)
奥まで差し込む

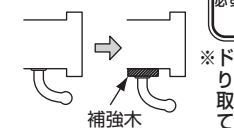
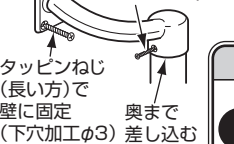
差し込みしろ
15mm

オフセットブラケット

EWT13BZ型

差し込みしろ
25mm

タッピンねじ
(短い方)で固定
(下穴加工φ2)



開き戸で使用する場合には、
開閉するドア端に握った手
が当たらない位置にブラ
ケットを取り付ける
手を挟み、けがをするおそれ
があります。

※ドア枠などの出が大きく、手す
りが握りにくくなる場合には、
取付座面下に補強木などを設け
て調節してください。

コーナーブラケット

EWT11BL型

差し込みしろ
25mm

タッピンねじ
(短い方)で固定
(下穴加工φ2)

タッピンねじ(長い方)
で壁に固定
(下穴加工φ3)



直付エンドスリムブラケット

EWT15BE型

差し込みしろ
15mm

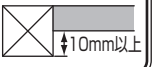
タッピンねじ(長い方)で
本柱に固定(下穴加工φ2)



警告

コンクリート下地には取り付けられない
コンクリートが破壊し、けがをするおそれがあります。

壁仕上面と柱との段差が10mm
以上あることを確認する
取り付けが不安定となり、けがをする
おそれがあります。

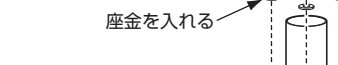


支柱

EWT12BB型

カバー

タッピンねじ(長い方)で
床に固定
(下穴加工φ4)



座金を入れる

タッピンねじ
(短い方)で固定
(下穴加工φ2)

※必ずφ35の木棒を使用する
強度が低下し、けがをするおそれ
があります。

着脱ブラケット

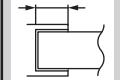
EWT10BK型

◆着脱部

木棒が奥まで入っていることを確認してください。

タッピンねじで木棒を固定
(下穴加工φ2)

差し込みしろ
25mm



◆固定部

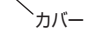
木棒を接続しない場合は、付属のキャップで穴をふさいでください。

差し込みしろ
15mm



タッピンねじ(長い方)で壁に固定(下穴加工φ3)

タッピンねじ(短い方)でキャップまたは木棒を固定(下穴加工φ2)



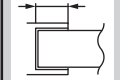
EWT12BK型

◆着脱部

木棒が奥まで入っていることを確認してください。

タッピンねじで木棒を固定
(下穴加工φ2)

差し込みしろ
25mm



◆固定部

タッピンねじで壁に固定
(下穴加工φ3)

「した」の刻印が下面になるように固定する

警告

差し込み形式のブラケット・接続金具では、木棒は奥まで差し込んで固定する
差し込みが浅いと木棒が抜け、けがをするおそれがあります。

奥までしっかり!

必ず実行

着脱部は片側に寄せた状態で、もう片方のすき間が3mm~5mmになるように調整する

すき間が大きいと着脱部が外れてけがをしたり、すき間が小さいと着脱部が外れずじまられるおそれがあります。

3mm~5mm

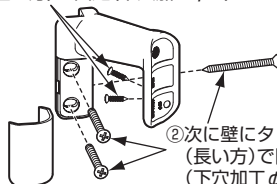
片側に寄せる

出隅スリムブラケット・出隅スリム受ブラケット

EWT14BD型、EWT15BD型

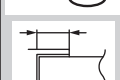
※出隅スリム受ブラケットを使用する場合は、壁にブラケットを固定する前にブラケットと木棒を固定してください。

①先に木棒をタッピンねじ(短い方)で固定(下穴加工φ2)



②次に壁にタッピンねじ(長い方)で固定(下穴加工φ2)

差し込みしろ
(出隅スリムブラケット)
25mm



警告

禁止

コンクリート下地には取り付けない
コンクリートが破壊し、けがをするおそれがあります。

ボードや化粧材の上から取り付けない
取り付けが不安定となり、けがをするおそれがあります。

ドア枠に取り付ける場合は、取付面の出が15mm以上あることを確認する
取り付けが不安定となり、けがをするおそれがあります。

15mm

15mm以上

取付面の出が15mm以上必要です。

ドア枠に取り付ける場合は、ねじが外に飛び出さないことを確認する
手などが接触し、けがをするおそれがあります。

ねじが外に飛び出さない

壁固定ねじが外に飛び出さないことを確認してください。

必ず実行

出隅ブラケット

EWT13BD型

差し込みしろ
25mm



警告

ボードや化粧材の上から出隅ブラケットを取り付ける場合は、柱にねじを12mm以上ねじ込む
取り付けが不安定となり、けがをするおそれがあります。

ねじ固定は下穴加工をする
取り付けが不安定となり、けがをするおそれがあります。

タッピンねじ(長い方)で壁に固定(下穴加工φ2)

タッピンねじ(短い方)で固定(下穴加工φ2)

奥まで差し込む

必ず実行

変換アダプター

EWT16CH型

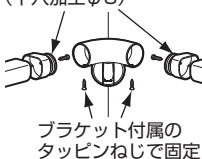
警告

差し込み形式のブラケット・接続金具では、木棒は奥まで差し込んで固定する
差し込みが浅いと木棒が抜け、けがをするおそれがあります。

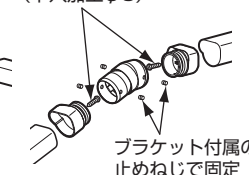
奥までしっかり!

必ず実行

タッピンねじで変換アダプターを木棒に固定
(下穴加工φ3)



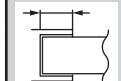
タッピンねじで変換アダプターを木棒に固定
(下穴加工φ3)



T字ジョイント

EWT11CT型

差し込みしろ
25mm



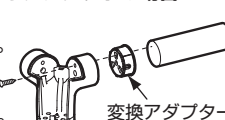
奥まで差し込む
タッピンねじ(長い方)で固定(下穴加工φ3)



EWT10CH型

■木棒の端面から固定するブラケットの場合

変換アダプターはそのまま使用してください。
底面をカットすると、変換アダプターが抜ける場合があります。



■木棒の側面から固定するブラケットの場合

底面をカットしてください。



警告

底面をカットして使用する
木棒の差し込みが不十分で取り付けが不安定となり、けがをするおそれがあります。

必ず実行

変換アダプターのスリットをねじ位置にあわせる

その他のブラケット

次のブラケットは、ブラケットに同梱の施工説明書をお読みください。

- ・L付受ブラケット EWT13BU型
- ・入隅エンドブラケット EWT14BE型
- ・直付フレキシブルブラケット EWT14BF型

6. 点検項目

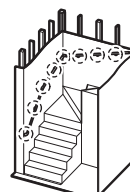
- 取り付けが完了したあと、手すりにガタツキがないことを確認してください。
- 着脱ブラケットは、着脱部が確実に着脱できることを確認してください。

商品のお問い合わせは
TOTO(株) お客様相談室へ
TEL ☎ 0120-03-1010
FAX ☎ 0120-09-1010

受付時間: 9:00~17:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

修理のご用命は 安心・信頼の
TOTOメンテナンス(株) 修理受付センターへ
TEL ☎ 0120-1010-05
FAX ☎ 0120-1010-02

ホームページ <https://www.tom-net.jp>
受付: 年中無休 受付時間: 8:00~19:00
訪問修理: 年中無休(一部地域を除く)
営業時間: 9:00~18:00



交換部品・別売品のご購入は
TOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンターへ
TEL ☎ 0120-8282-55
FAX ☎ 0120-8272-99

受付時間: 平日 9:00~18:00
土・日・祝日 9:00~17:00
(夏期休暇・年末年始を除く)
※インターネットでの部品購入はTOTOWebショップへ(24時間受付)
<https://www.toto.jp/ec/html/index.htm>